

日本共産党の情報公開で判明 中電ごみ焼却場 民設民営

予定地/2号地多目的グラウンド(県用地)5ha

情報公開による ごみ焼却場 民設民営案の経過		
2023.6.2	P1:30	全協
2023.6.2	A 10	調印
2023.5.29	決済	プレス資料 部長のみ報告
2023.5.31	決済	プレス資料
2023.5.29	庁内連絡会幹部会付議事項	協議 各課には展開しない
2023.5.25	決済	
2023.5.24	記者発表会の案内	
	”質疑応答	平成26年10月8日付 環廃対発第1410081号
2023.5.22	商工会議所	商工会議所会頭・副会頭への説明
2023.5.19	P 3 : 30	県庁 民設民営打合せ4/19以降 地域計画交付金1年遅らせる
2023.5.8		中電本社訪問
2023.5.2	環境課	予定地事業方式による費用比較、廃棄物処理内容など/検討内容
2023.5.1	市担当者3人	相生市・赤穂市に視察 相生市視察62,760円3人分
2023.4.26	港湾課	2号地緑地の用途変更について 2号地多目的グラウンド約5ha
	2026.1月	登記完了
	2027.4	建設工事開始
	2031.4	供用開始
2023.4.25	第2回プロジェクト会議	
2023.4.24	商工会議所	商工会議所専務理事への説明
2023.4.19	衣浦港湾事務所打合せ	
	資源循環推進課への説明	
2023.4.19	県資源循環推進課に説明	
	(1)安城市賛同を得た	
	(2)碧南市と同意見	
	(3)刈谷市知立市特に反対との意見はなし	
	(4)県知事「灰捨場か」と	
2023.4.17	碧南市2役協議	
2023.4.4.	碧南、高浜、衣浦衛生組合と中電の打ち合わせ	
2023.3.30	関係課打合せ	ごみ焼却施設とスポーツ施設の再配置について
2023.3.8	碧南市と中電の打ち合わせ	
2023.2.6.	碧南市と中電の打ち合わせ。市民を納得させる画策を論議	

2号地グラウンド取得費12億円も

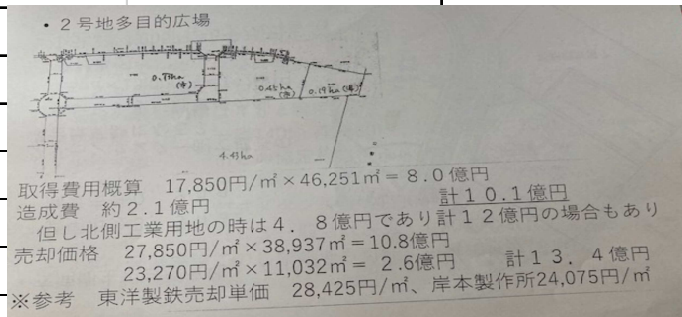
日本共産党は6月15日にごみ焼却場を中電に民設民営にしようとする市に対して、情報公開を求めました。6月26日に、公開書類を入手しました。これには、2月6日市から、中部電力に協力を依頼したことが示されています。建設場所は2号地多目的グラウンドの5ha。県用地のため取得価格も12億円と試算されています。そのため、3月8日の市と中電の打ち合わせには、現在の焼却施設と周辺をスポーツ施設の代替地とすることも書かれています。協定時に報告する内容にも、焼却場候補地、スポーツ施設代替地を明記して

相生市に視察

市担当者は、相生市に視察。赤穂市、たつの市との広域化計画が破綻し、各市単独施設となったことから相生市は人口27,000人で200t/日の過大施設の民設民営、産廃焼却も取り入れるものとなりました。10万人人口の碧南市高浜市とはかけ離れています。

出資金には触れず

現在の、現在まで一言も公表されていません。市民と議会に隠ぺいする姿勢は「民設民営」に後ろめたい事があるのでしょうか。



やっぱり公設公営が一番

現在の、焼却場周辺の土地をスポーツ代替地と計画するならば、サンビレッジ衣浦のプール浴場施設を挟んで、新施設を計画することは可能です。市民とともにゴミ減量、ごみゼロに取り組み、最小限の焼却炉と堆肥化施設を建設させましょう。ごみも費用も公共が責任を持つことが「カルテル」「ダンピング」で電気料金を吊り上げる中部電力に依存しない自立した、ごみ行政と言えます。

中電は大規模工

リア送電やめよ

中部電力が本気で二酸化炭素削減を考えるならば、410万kWの碧南石炭火力発電所をやめて、全国で地産地消の小規模発電、近距離送電にすることが効果的です。政府とともに、省エネ、再エネの普及や技術、製品の向上を進めることに舵を切るべきです。

見せかけのエコはエゴ

「エコ、カーボン対策」と言いながら、石炭火電は削減せず。行政の焼却場までのとって「燃やせ燃やせ」と強要するならば「企業エゴ」です。ごみ削減、CO2削減は行政がしっかりとやり、再エネで庁舎、病院、焼却場の電気使料金をゼロにする明確な目標を示していただきたいです。

気候危機打開と言いながら アンモニアタンク8基が林立する「臭い町 碧南市」に

7月14日～8月3日(予定)縦覧を

碧南石炭火力発電所に対する批判が世界に広がる中、中電、JERA、国は、アンモニア混焼という未開発の技術で、石炭火力発電所の延命を図っています。

JERAは、今後アンモニアタンクを、2023年10月竣工で4基、2027年竣工で4基の合計8基を建設する予定で、埋め立て変更を行います。その縦覧が市役所で7月14日から8月3日まで(予定)行われます。ぜひご覧ください。

2050年には倍の16基か？

2050年には倍の16基の設置も想定されます。アンモニアは劇薬で、大量の保管は他に例がありません。厚生労働省でも、大型液化水素タンク(数万m³相当)にそのまま適用すると現行のLNG貯槽と比較し、約2倍の距離(例160→320m)が必要とされています。適切な隔離距離設定の検討が必要です。その際、ハード面の防爆対策の検討も指摘されています。

危険を象徴「スポーツ施設」用地削除

① 埋立地の用途変更			
用途	規模 (ha)		適用
	変更後	変更前	
緑地用地	約14.8	約7.7	貯炭施設からアンモニア貯蔵施設に変更
発電所関連施設用地	約32.8	約28.0	
厚生施設 (スポーツ施設用地)	-	約11.9	
合計	約47.6	約47.6	

② 区域分割			
工区	用途	規模 (ha)	
		4-1工区	4-2工区
4工区	焼却炉	約25.6	焼却炉 2023年10月
	焼却炉	約22.0	焼却炉 2027年1月
合計		約47.6	

危険を象徴するように、市民解放のスポーツ施設用地は今回、削除します。

リスクアセスメントの実施

匡でさえ、将来的な水素・アンモニアの大規模貯槽等の活用を想定した、大規模漏えい等重大事故時の影響評価が不可欠とされています。こうした事故を想定したシミュレーション等を実施するとともに、事故の影響評価を通じて、必要なハード、ソフト両面の事故防止対策等に繋げる必要をとしています。

防災対策指針(仮称)の作成は

万が一の大規模漏えい等の非常時に備え、事業者のソフト面での対策である保安規程等(災害その他非常の場合に採るべき措置)として盛り込むべき、非常時の組織・体制、緊急時連絡先・体制、非常時の対応手順(拡散防止等)、事故・安全評価の手法、防災備品・備蓄(防毒マスク等)、防災教育、防災訓練等に関するガイドダンスの作成も報告がありません。

検査や溶接に係る検証等

使用前自主検査や定期事業者検査、溶接事業者検査については、国がそれぞれ検査方法の解釈やガイドを定めています。水素・アンモニアを取り扱うに当たって、検査項目や検査方法とともに、留意点等の検証を行い市民に公開すべきです。

セスアなし危険度保安の説明なし

現在まで、議会にも市民にも、任意アセスメントも行わず、危険・保安の対策説明もありません。

「キンカン」で仮称評価

議会の臨海特別委員会や環境審議会で行った説明会でJERA会長は、虫刺され「キンカン」を手に「これがアンモニア」と詐欺的な過小評価を行いました。生成期に大量のCO₂を排出し輸入頼みで、現在日本中で使っている総量を1日で消費する混焼は、おためごかしです。



<http://hekinan.jcpweb.net/>
日本共産党碧南市議員団のホームページをご覧ください。

アンモニアの危険性

可燃性・爆発性 アンモニアと空気の混合ガスは爆発の危険がある。アンモニアは、ハロゲン・強酸と接触すると激しく反応し、爆発・飛散することがある。また、シアン化水銀・次亜塩素酸カルシウムと接触し、爆発性物質を生じることがある。

人体への影響 高濃度ガスを吸入すると肺水腫を起し、呼吸が停止する。皮膚・粘膜に対する刺激および腐食性が強く、その作用は組織の深部に達しやすい。高濃度のアンモニアが目に入ると、視力障害を起すことがある。

濃度 [ppm]	作用
5~10	明らかに臭気を感じる 25 不快感が起こる
200	刺激により呼吸が妨げられる
2500~4500	短時間 (30分) で生命危険となる

日本共産党碧南市委員会



市議会議員 山口はるみ ☎42-8940 三度山町 2-70-4	市議会議員 岡本守正 ☎41-5357 笹山町 6-29	市民運動部長 磯貝明彦 ☎48-2718 若松町 3-253
--	--	--

大軍拡・大增税許すな へきなん 19 行動

7月19日 (水曜日)
午前11時～12時
東浦町6-17 ピアゴ碧南東店
(日進小学校)